

令和5年度 恵那北小学校だより

11月20日号

げんきたっ子



学校をよりよくする児童委員会

校長 市川 伸美

恵那北小学校の3つの児童委員会には、4年生以上の児童が所属しています。そして学校の宝物「挨拶」「読書」「掃除」を高めるために、全校で楽しく取り組める工夫をし、生活をよりよくしようと努力しています。学習したことを生かし仲間と協力することや、仲間のために働くことは、授業とは違う学びがたくさんあります。今回は、委員会の取組の一部を紹介します。

代表委員会

宝物の「挨拶」を高めます。毎朝玄関前に立ち、「おはようございます!」と元気な挨拶で一日が始まります。また全校帰りの会の司会を務め、明日も元気に登校できるよう、明るい挨拶で締めくくります。「あいさつキャンペーン」では、元気な挨拶、目を見て挨拶、笑顔で挨拶をしている子を紹介しました。

今は、人権週間に向けて話し合っています。みんなが幸せな気持ちでいられるようにと、言葉や行動に目を向けて全校での取組を思案中です。6年生は、道徳で「人権」について学習したことを生かして発言する姿もありました。



学習委員会

宝物の「読書」を高めます。各学習委員の“おすすめ本”を昼の放送で紹介し、読んだことのない本にも挑戦できるような工夫をしています。

今は、「課題図書を読もうキャンペーン」中です。各学年10冊の課題図書を、2冊読んだら秋の木を彩るという作戦です。学習委員会で作成した木が、葉っぱや栗の実で彩られてきました。

学習委員会では、学習で大切な姿勢や準備などについても呼びかけています。

生活委員会

宝物の「掃除」を高めます。12月には年末の大掃除とも合わせて、きれいに掃除するポイントを紹介します。恵那北小学校の掃除の時間は、静かに集中して活動し、トイレ掃除も児童が順番に行っています。お客さんが「きれいですね」とほめてくださることもあります。

今は、感染症予防のために、休み時間の換気や手洗いについて全校に働きかけています。毎日、給食の献立についての放送もしています。

